



コミュニティ・スクール
長井市立致芳小学校だより
令和4年 11月15日 NO.14
校是「和致芳」

みんなが仲良く高め合って、たくましく輝く致芳校をつくろう
『一人一人が自己の成長を実感し、笑顔になる学校へ』

致芳小学校創立112周年の歴史の重みを感じて

11月1日は致芳小学校の創立記念日です。112周年に歴史の重みを感じます。先輩方が地域の方々と共に築き上げてきた証が校舎・校庭のいたるところに感じられます。せんだんの庭、松ぼっくり広場、老いの森、大道寺吉次氏の歌碑、校舎内の多くの絵画、そして遊具の数々などです。平和の鐘を鳴らして始まった創立記念式では、致芳小学校ができてから112年、5297名の卒業生の皆さんや保護者の皆さん、地域の皆さんの思いや努力があって、今の私たちがこの学校に通っていること、そして、未来の致芳を創るのは今、学校にいる私たちであることをみんなで確認しました。式辞の中では「未来の致芳に残し



たい人・もの・心」と題して4・5・6年生にとったアンケートについて話しました。少年少女獅子踊り、葉山登山、教育山の記念植樹、地域コミセンと一体となったウオークラリーなどの行事など伝統的な活動を大切にしたい、校舎の周りの木々やみどりのコースも大切にしたいと多くの児童が思っています。さらに、将来地域の人になった時に子供たちを通わせたい致芳小学校にするにはどうしたらいいかと考えてもらおうと、いじめや差別がない学校にすること、そのために「人にやさしい致芳小」「まずは、あいさつから」「自分から進んで、誰も見ていなくても」そして「笑顔・友達・幸せな学校にすること」が挙げられました。6年生の児童代表のあいさつでは、お父さんが通っていた当時の小学校の行事、相撲大会や持久走大会後に焼き芋をして食べたこと、2～3クラスあって友達も先生もたくさんいたことなど聞いた話を教えてもらいました。これからは今取り組んでいる「いつでも、どこでも、誰にでも、笑顔でおはよう、ありがとう」の合

言葉を大切に、運営委員で取り組んでいる「笑顔、えしゃく、大きな声」のあいさつを頑張っていきたいと思いますと呼びかけました。子供たちはしっかりと未来を見据えて考えています。素晴らしい子供たちです。その時代に精一杯活動してきた方々の願いを大切に思い、感謝するとともに、これからの私たちが為すべきことをことへの思いを一つにした日になりました。



ジャンボ！ようこそ、ザンジバル野球チームのみなさん

10月31日に長井市がホストタウンとなっているタンザニア連合共和国のザンジバルの野球チーム13名の皆さんが来校されました。ザンジバル野球連盟の名誉会長の島岡さんご夫妻と一緒に全校生と対面しました。タンザニアの紹介では、「世界で一番動物が多い国、6000mを超えるキリマンジャロ山が有名で、ザンジバル島には山がありません」と教えていただき、児童からの質問コーナーではどんな動物がいますか？などと子ども達は動物や食べ物に興味津々。その後は5・6年生と2時間たっぷりとティーボールをして楽しみました。ティーボールはティーと呼ばれるゴム製の棒の上にボールを置いて打つピッチャーがない野



球のようなゲームです。ザンジバルチームに子ども達がやり方を教えていました。英語も少し通じますが、スワヒリ語を主に使っているのでほとんど言葉は通じません。しかしそこは致芳の子供たち、表情やジェスチャーでどんどんコミュニケーションをとっていきます。得点が入るとハイタッチを交わし、ホームランを打った子どもを胴上げで祝い、仲間の応援

の歌と踊りが始まりました。最後には「ジャンボ！」「マンボ！」「アサンテ！」と別れを惜しむほど仲良くなっていました。交流は言葉ではなく心であると子ども達が示してくれました。次の日行われた送別会に出席してきました。キャプテンのバカリさんからは「長井の人たちは誰一人差別することなく、とても温かく迎えてくれた。」と話していました。長井の心がつまった素晴らしい国際交流でした。



全国小学校生活科・総合的な学習協議会東京大会で発表

11月10日・11日に行われた全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会東京大会で本校の生活科の実践を船山教諭、黒澤教諭が発表してまいりました。昨年の11月に致芳小を会場に行われた県生活科・総合的な学習研究協議会で生活科「わくわくまつりにしようたいしょう」の授業と5・6年生の総合的な学習「獅子踊りの引継ぎをしよう」の授業を公開しました。地域に根差した伝統的な獅子踊りを伝承している姿、プログラミング学習や他



教科と生活科を組み合わせた単元で生き生きと活動する姿を評価していただきました。今年度の東京大会でぜひ生活科の実践発表をとの声をかけをいただき、長井市のご支援でICTを活用した授業を実施できていることへの感謝の気持ちを込めて発表することになりました。発表後の協議では、ご覧いただいていた文部科学省調査官の加藤智先生から、教科との関連やプログラミング学習の位置づけについてお話していただき、参観された京都や東京都の先生からも地域の交流でわくわくする授業を創り上げていることを高く評価していただきました。その後、助言者の長井市教育委員会の加藤指導主事から、長井市や各校の取り組みをたくさん紹介し、ご指導いただきました。ありがとうございました。

た。

致芳小学校のホームページ・ブログでも子ども達の様子をお知らせしています。カラーでご覧いただけます。こちらのQRコードからどうぞ。

